

早島町

令和4年 第76号
6月1日

議会だより

よ

う

春

R

さくら祭で熱演（早島いぐさ太鼓のみなさん）

Contents

3月定例議会概要	2P
予算審査常任委員会Q&A	3P～5P
ここが聞きたい！一般質問	7P～13P
議会報告会・議会モニター会議	14P
わか町のニューフェイス	16P

コロナ対策予算で「買い物バス」、見えぬ待機児解消、すすまめ児童館「新設」…

令和4年度 一般会計当初予算

『再提案』され、賛成多数で可決

3月定例会は2日～16日までの15日間の会期で開催されました。予算審査常任委員会では、一般会計当初予算に対し反対意見が相次ぎ、反対多数で否決されました。その後、同議案は取り下げられ、議員らの意見・要望を踏まえ修正されたものが、再提案され可決されました。（詳細は次ページ以後に掲載）

反対理由の主なもの

- ① 新型コロナ対策予算を利用し『買い物バス』予算が計上されている。タクシー助成等の諸施策を含む公共交通全体の見直しが必要
- ② 保育園新設までの間の待機児童対策の方針が明確でない
- ③ 学童保育の過密対策と児童館の機能移転の予算がないこと
- ④ 国から交付されたコロナ対策予算の使途はコロナ禍で逼迫する事業に充てるべき
- ⑤ コロナ対策予算での小学校『バスケゴール』新設は優先すべき事業でない

修正され再提案された

『一般会計予算』の主な内容

- ① 『買い物バス』（予算約600万円）の削除
- ② 保育園運営事業者が決定次第、受け皿としての暫定的な保育施設整備を要望する。その場合町として十分な協力を惜しまない（今後補正予算等に対応する）
- ③ 学童保育の過密対策として、コロナ対策予算を利用し、児童館機能の一部をゆるぎの舎に仮の児童施設を整備し移転する（予算約600万円）。検討会を設置し、今後の児童

再提案された『一般会計予算』

館と留守家庭児童会の在り方について協議する

④ コロナ対策の予算を小学校のバスケットゴール設置のための予算に充当しない

討論

反対 佐藤辰美 議員

早島駅バリアフリー化の主目的が駅の拠点整備にすり替わっている。バリアフリーは段差を無くすこと。南口の設置だけではない。

JRがバリアフリーをする使命がある。折衝課程と契約内容を明確にし、その法的根拠を示せ。

ランニングコストの試算もふまえ、町民に判断を委ねるべきだ。

真に必要なバリアフリー化を

お願いする。
住民説明会の開催を要望する。

賛成 真鍋和崇 議員

委員会では（否決された）当初予算に反対した。

今回再提案された予算案では、公共交通網全体の見直しと、保育園新設までの間の受け皿の確保を「実施する」と明言があった。

また『買い物バス』予算の削除、児童館の機能移転と検討会実施のための予算の確保が行われることになったため、賛成する。

駅のバリアフリー化については本予算で計上されているのは『駅一体化の自由通路・多目的スペース等の地方創生拠点施設設置』のための実施設計予算。

南口のみを設置は「西日本旅客鉄道との協議で、駅及び鉄道敷地の所有者である当該企業の意思として認められない」との見解だった。

駅については「最小の経費で最大の効果」があげられるべく、予算の透明化につとめること。説明会の開催も視野に、十分に町民に説明責任を果たすことを私は要望する。

一般会計予算、反対多数で否決

【予算審査常任委員会】

予算審査常任委員会は3月7日～9日までの3日間にわたる審議を行い、令和4年度一般会計当初予算を反対多数で否決。その他7議案については全会一致で可決すべきと決しました。委員会否決をふまえ、町長は予算案をとりさげ、14日に再提案されました。再度委員会で審議され賛成多数で可決されました。

委員会審議の主なもの

【一般会計補正予算】

- Q：新型コロナウイルスの影響で生涯学習施設も開館日数が少なくなった。住民にとって大切な施設。感染拡大に留意し、極力開館を。
- A：利用者の学習の継続の観点から、開館する選択肢も必要だ。
- Q：予算の繰り越しには明確な理由を。単年度で事業は完遂できるように留意を。
- A：委託を極力減らして職員でできるものをしていこうとがんばった結果、日数を要した。
- Q：コロナで審議会が開催できず、策定に遅れが生じた計画もある。リモート等工夫し対応を。
- A：今後考えていく。
- Q：資材費高騰による事業の遅れ

等の見直しは。

- A：原油等の高騰が止まらない。今後視野に入れる必要がある。
- Q：中学校補修工事が繰り越しになるが、生徒の安全対策は。
- A：夏休み中の完遂は困難だが安全確保に留意し進める。
- Q：公有財産購入約4500万円の意図は。
- A：土地開発基金で所有していたが、財源ができたため買い入れた。
- Q：イベントで時々使用する目的のない土地。活用方法を明確に。
- A：検討中だ。
- 【4年度一般会計予算・歳入】
- Q：コロナ関連で予算規模が増加しているが、今後、予算確保を

どのように考えているのか。

A：コロナ関連は歳入に見合ったものが補助されている。予算確保は国の情勢により変動はあるが、大きくは変わらない。

Q：新たな財源確保で都市計画税を検討したことがあるのか。

A：検討したことはない。

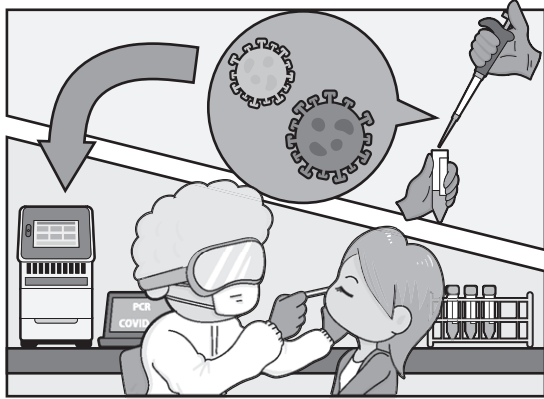
Q：固定資産等が伸びているが、将来的な見直しは。

A：企業進出が見込まれ、償却資産、新規設備投資の観点から今後伸びると考えている。

Q：待機児童の見込みは。

A：28名。

Q：0歳児が多い、3歳児も新規入所していくらか待機が出ている。



【4年度一般会計・歳出】

Q：町内公共施設の維持管理は一括して契約すべきでは。

A：電気保安は全施設、草刈伐採など一括で入札を行い、経費削減に努めている。

Q：地域公共交通関係基礎調査事業の「買い物バス」の運行実証実験で、対象地域のマーケティング調査を行ったのか。

A：地域の75歳以上の人数把握しかできていない。

Q：整理ができていない中で事業を提案するのは乱暴ではないか。

A：交通網のないところにコミュニティバスを補完する考えである。

Q：コロナ対策予算で実証実験はするべきでない。令和元年9月、地域公共交通網の会議開催はどうなったのか。

A：生活支援もコロナ対策と考えている。会議は開催していない。

Q：観光センターの指定管理、期間設定3年を5年に変える方向性はないのか。

A：ひとまず3年が妥当と考えている。

Q：町外移動タクシー2年間試行した結果、継続という意向か。

A・・年々利用者数が増加しており、継続するのが良いと判断した。

Q・・保育所新設のスケジュール、開設されるまでの間、どうするのか。

A・・現在公募を行っている。4、5月には選定したい。短期的に小規模保育ができるような状況にあるかヒアリングしたい。

Q・・民間保育所施設整備費が計上されていないが。

A・・着手前に申請する必要がある、6月議会又は臨時議会で上程する。

Q・・留守家庭児童会、過密状態にある。

A・・物理的にスペースは広げられない。創作室やゆるびの舎を使うことで密を避ける努力を行う。

Q・・清掃委託料2100万円増えているが。

A・・山川池の浚渫4000万円、久々原水路浚渫2000万円。

Q・・学校給食費公会計事業の内容は。

A・・4年度にシステム構築、年度内に試行し、5年度から実施する。

Q・・小学校感染対策事業で何故バスケットボールコートの新設なのか。

A・・道路でバスケットをするなど苦情があり、コートの新設する。

Q・・幼稚園給食を園で作ることは考えていないのか。

A・・単一でやるのは難しい。共同調理場等があれば検討していく。

Q・・国税業務が税務課から町民課に移るが、町民課の事務負担は。

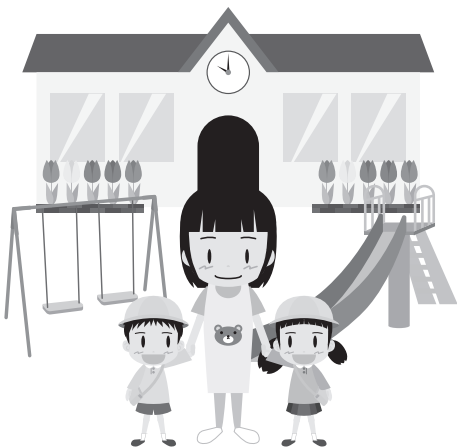
A・・移管に際し、職員の増員を要望している。

Q・・包括支援を直営で行っているが、将来的に委託する考えはないのか。

A・・包括本来の職務を行い、要支援等は委託していきたい。

Q・・下水道で未接続地域はあるのか。

A・・西の内地域が合併浄化槽、他の地区は完備。



反対討論

船越 健一委員

○交通サービスがあまりにも煩雑。議会は再三整理を求めてきた。『買い物バス』を試行し、町外移動タクシーの本格実施は認められない。内容の精査を。

○町長所信で触れている待機児童対策、児童館新設等が予算に反映されていない。

○コロナ対策での小学校バスケットコート新設など、不要不急の予算計上は認められない。

あまりにも今年の予算は希望が持てない。

反対6で否決

反対者

佐藤博文・林 郁夫・佐藤辰美
細田貴道・真鍋和崇・船越健一

その他の審議議案

議案第10号 早島町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例について

議案第14号 令和3年度早島町一般会計補正予算(第11号)について

議案第27号 早島町教育委員会教育長の任命について 等

予算審査常任委員会で否決され、再提出された令和4年度一般会計当初予算を含めた29の諮問・議案を可決した。

- 1月4日(火) 議会活性化特別委員会
- 1月12日(水) 議会広報特別委員会
- 1月21日(金) 議会広報特別委員会
- 1月27日(木) 議会活性化特別委員会
- 1月31日(月) 議会広報特別委員会
- 2月17日(木) 議会運営委員会
- 2月17日(木) 議会活性化特別委員会
- 3月2日(水)～3月16日(水) 定例会

早島町が 変わります!!



職員のサービスの宣誓書・押印廃止

【総務厚生常任委員会】

早島町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例について

Q: どのような変化があるのか?

A: 正職員は変化なし。雇用期間1年未満の会計年度任用職員も取得可能となる。

早島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q: 大きく変わった点は?

A: 紙をもって資料の提出や説明を行っていたが、同意があれば電磁記録等の提出も行える。利用者からの情報提供を同意があれば電磁記録にもできる。資料の保存についても同様である。

Q: 非接触での文書のやり取りが活発になっていくか?

A: 保育施設、特定教育施設でも、これから先そういう形になっていく。

Q: 町内では、幼稚園等でのそのような形に変えようとする話はあるのか?

A: 今のところ特に話はないが、こういうことも可能になるとうことで周知されたい。

陳情

○重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書への陳情書の提出については、委員全員一致で採択すべきものと決しました。

○国立病院の機能強化を求める陳情書の提出については、委員全員一致で採択すべきものと決しました。

幼稚園預かり保育料の保護者負担が減額

【産業文教常任委員会】

委員会に付託された以下の6議案が原案の通り可決されました。

議案第7号 早島町都市公園条例の一部を改正する条例について

議案第8号 早島町道路構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例について

議案第9号 早島町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

議案第10号 早島町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例について

議案第12号 岡山市及び早島町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について

議案第13号 早島町道路線の認定について

自治功労者表彰を受賞

本年2月、自治功労者として平岡守議長と舩越健一議員が全国町村議会議長会表彰及び岡山県町村議会議長会表彰を受けました。

両議員は15年以上にわたり早島町議会議員を歴任し、早島町の発展に寄与してきたことから今回の受賞に至りました。

早島町議会として、両議員がこれまで早島町の発展に努めてこられたことに感謝するとともに、更なるご活躍を祈念いたします。



平岡 守 議長



舩越健一 議員

質 問 一 般



根木 一 議員

問	帯状疱疹予防接種の補助金を考慮してもらいたい
答	町独自の助成制度として予定はない。国の動向を注視する

問 帯状疱疹の原因のウイルスは、日本人成人の90%以上の体内に潜伏し、80歳までに約3人に1人が発症し、50歳代から発症率が高くなる。

50歳からワクチンの予防接種ができ、2回の接種が必要であり全額個人負担で約4万円かかる。疲労やストレスなどが発症のきっかけになる。コロナ禍でストレスや疲れを抱える人が多いことから、補助金制度を考慮してもらいたい。

答 町長 県内では費用の一部助成をしている自治体は今のところはない。定期予防接種化に向けて、現在国の厚生科学審議会で適切な対象年齢や期待される効果、安全性等を議論している。町独自の助成制度として導入の予定はない。国の動向を注視しながら、必要に応じて検討していく。

問 新型コロナウイルスワクチン接種 3回目接種の状況については。

答 町長 2回目接種から6か月経過者に月2回に分けて接種券を郵送している。ワクチンの交互接種は、マスクミ等で広く報道されているが、コールセンターで、ワクチンの特性等について説明している。

問 コロナ感染が疑われる方からの、役場への休日問い合わせの対応は。

答 町長 宿日直者に県の24時間対応の相談窓口を案内するよう徹底をしている。

問 5歳児からの接種の取り組みは。

答 町長 南岡山医療センターと協働し土日の接種を3・4月で2クール90名の接種を予定している。

問 城山学級と児童館 児童数が多く支援員さんの手が取られる状況で、児童に対する安全の見守りは。

答 町長 支援員を1クラス3人を基本に、学習指導員を1人配置している。指導員に研修等を行って意識統一を行い、子供の安全に注意を払っている。

問 Wifiの設置について。

答 町長 早急に順次設置する方向で考えていく。

問 中古車販売店の軽自動車税の課税免除 毎年4月1日付で車検の登録がある商品中古車に税金がかかる。岡山市が4月より課税免除を決定し、倉敷市はすでに課税免除している。

答 町長 軽自動車人気の高まりで、税金も着実な伸びである。課税の平等性や公平性の観点を念頭に、各自治体の動向も見据えつつ調査研究をしていく。





林 郁夫 議員

問 未整備が著しい農業生産基盤の整備計画は

答 令和7年度までに用排水路570mを整備する

問 早島農業振興地域整備計画策定から14年も経過しているが、農業振興施策の推進の遅れが著しい。重要課題となっている①農業生産基盤の整備②農業の担い手確保と安定的な農業経営③遊休農地の3件について、現在までの活動・成果・今後の取り組みにつ

答 町長 これまでに農業生産基盤といった面だけでなく、防災面からも水路護岸の整備・水路資材支給制度に取り組んできた。

問 農業の担い手確保と安定的な農業経営については、農業委員会の皆さんが農業状況の把握と農業従事者の減少、高齢

の農業経営の効率化を図ったうえで、必要な場所に必要な道路整備を行う。また、区画整理により農地の大規模化を進める。

問 地理的要因、農業後継者の不足等により、新たな遊休農地が発生している。



農協で行われているふれあい青空市

化、後継者不足、農地の分散等多くの課題解決に向けて活動し、毎月1回の委員会において情報交換し、早島町農業の発展のために一生懸命活躍している。

町がリーダーシップを取り、早島農業振興を推進しているのか。

答 町長 岡山県農業普及指導センター、JA等で構成する協議会を設置し、令和8年の農地集積率目標43%を掲げ取り組んでいく。農業認定者を中心に農業者同士のコミュニケーションが取れる機会を設け、お互いの情報交換の場を作り農業経営の安定化に努める。

答 町長 農業委員会が1年に1回農地パトロールを行い、遊休農地から荒廃農地にならないよう取り組んでいる。

「田んぼダム」と浸水対策

問 倉敷市が実施している水田の畔補強と排水口設置による「田んぼダム」の普及・推進は、豪雨時の町内浸水被害を軽

減することになり、町民が少しでも安心できるのではないのか。

答 町長 現在設置しているポンプの機能を改良することで近年の大雨に対応できる計画にしている。また、幹線水路やため池の浚渫を行い、下流能力、湛水能力の向上に努めている。

問 コミュニティバスを含めた公共交通の見直しは

答 高低差のある団地の乗り入れを含めた支援の仕方を検討する

町のコロナ感染対策

問 変異株に対する対策と若年層に対するコロナ接種は安全性・有効性を確認して、安心して打てる体制を構築しているのか。

答 町長 接種によっては、かかりつけ医などと相談して御検討頂くよう周知している。

問 抗原検査キット等の備蓄は。

答 町長 現在20セツトの備蓄があるが、今後の状況を見ながら必要に応じて

購入を考える。
問 休日のコロナ感染時の対応やマニュアル作りは。

答 健康福祉課長 休日の宿直職員については健康管理の指導が出来ないが、県の24時間対応の窓口を丁寧にお伝えする。

コミュニティバスを含めた公共交通の見直し

問 バスや町外移動タクシー、買い物タクシー、福祉タクシー等たくさんさんの移動手段が実施されているが煩雑で分かりにくい。

各団地の乗り入れを含めた公共交通体制の整理が必要と考えるが検討しているのか。
答 町長 町民に分かりにくいという議会からの提案を頂いて、じっくり検討する。また問題となっている高低差のある団地を含めて支援の仕方を考える。

町の子育て支援施設

問 コロナ禍において城山学級などで使用している児童館が、かなり手狭になり密になっている。児童館の新設は考えていないのか。

答 町長 ゆるびの舎、ぞうさん広場、図書館、ラウンジ等を一体的に利用し、子ども子育ての交流センターとして令和4年度早期に実施し

していく。
問 保育園設置運営事業者に関わる公募の状況と開園できるまでの待機児童問題は、どう解消するのか。

して早期着工、開園を目指す。待機児童は3園に協力頂き、弾力運用分の中で対処したい。

答 町長 保育園の募集に6事業所の参加の申し込みがあった。事業者の選定を



佐藤博文 議員



町内を巡回するコミュニティバス



古田敬司 議員

問 駅前バイパス線事業化に伴う、
町有施設の在り方は

答 施設、機能の両面から集約化を
図る

機構改革

ることを前提として
いる。
例えば役場庁舎な
どは敷地内での増改
築で行政機能の分散
化を防いでいきた
い。

本町では既存の課に
加え、平成31年度に
は整備計画室を立ち
上げ、内部的なもの
対外的なもの、様々
な行政課題の解決
にあたってきた。

実現したい。
問 副町長は町長部
局統括の立場にある
が、組織機構改革に
ついてどのような考
えを持っているの
か。

問 組織の機構改革
の効果として職員の
意識改革、事務処理
及び意思決定の迅速
化、住民サービスな
ど、わかりやすく利
便性の高い組織構築
などが挙げられる。

縦割り行政による
行政サービスの提供
は決して悪いことば
かりではない。問題
は他部署との連絡、
協力、協調の視点が
欠けた場合だと考え
る。

答 副町長 機構改
革は行財政改革の一
環として行う側面と
住民サービスの向上
のために行う側面が
ある。小手先の変更
でなく、周到に準備
して大胆に行うべき
と考える。

問 先般、国土交通
省から国道2号線の
部分立体化について
町内の無津交差点が
新規事業の候補箇所
に選ばれた。決定す
れば22年度から1期
工事が始まる。

これに伴い、駅前
バイパス線の事業化
の前倒しが想定され
る。影響を受ける町
有施設の在り方につ
いて統廃合、代替な
ど工程計画を作成す
る必要がある。

これまで検討を進
めてきた取り組み
は。これまで検討を
進めてきた取り組み
は。基本的な考え方
として支障移転等を
実施し、既存の公共
施設、機能の両面か
らの集約化により、
保有面積の縮小とな
る。

答 町長 都市計画
道路駅前バイパス線
の事業化が現実味を
帯びてくる中、この
区域には役場本庁舎
低層棟をはじめ中央
公民館、クラブハウ
ス、歴史民俗資料館
など、複数の町有施
設が含まれ、支障移
転の必要が生じる。

私は職員の負荷業
務、業務実態、縦割
り行政による弊害が
無いか実態を把握
し、組織の陳腐化を
避けるため、定期的
な組織改革を行う必
要があると考えます。
町長は機構改革に
ついてどのような認
識を持っているの
か。

答 町長 これまで
組織再編は必要な
時に必要最小限にと
どめ、各部署が所管
する業務の分割や統
廃合、可能な業務の
非常勤職員への割り
振り、部署間の協力
体制の構築、さらに
定型業務の外部委託
など弾力的かつ柔軟
な組織運営、簡素で
効率的な行政運営に
向けた取り組みを進
めることで、住民サ
ービスの安定提供を



早島町役場庁舎

問 『町公式ウェブサイト』の更新は

答 令和5年3月の運用開始を目指している



佐藤智広 議員

問 町公式ウェブサイト(以下HP)更新時期及び、その内容の概略は。またプロポーザル(企画提案入札)と聞いたが何社か。

答 町長 令和5年3月の運用開始を目指している。

新HPでは、アクセシビリティ(利用しやすさ)の最新標準はもとより、情報を探しやすいHPとなるよう配慮。

以前より提案いただいたHPの管理体制についても、検討する。

答 まちづくり企画課長 公募型を考えているので、何社になるか分からない。

問 業者へのRFI(情報提供依頼書)及び業者からのRFP(提案依頼書)も資料として請求できるのか。

答 まちづくり企画課長 基本的には提供するが、内容によっては開示できないものもある。

問 HPは原則万人が利用できるように、利用者に優しくというのがコンセプトだ、先進的な他市

町村の例を研究し、構築していつてもらいたい。

答 まちづくり企画課長 県内自治体で先進事例の情報共有や効果的な取組の調査研究などを行うと同時に、今後も庁舎内のスキルアップを図っていく。

行政DXへの取り組み

問 自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)デジタル活用による自治体運営(以下DX)。デジタル庁では、クラウド上に構築された20の『基幹業務等システム』へ移行を推進しているが、その取組は。

答 町長 単町では難しいので、岡山中枢都市圏、高梁川中枢都市圏他の連携の中で、協議会が立ち

上がったところだ。

答 まちづくり企画課長 令和7年度末までの標準化については、令和4年度中に全体工程表を策定したいと考えている。

問 マイナンバーカードは町民課の所管だが独自サービス

答 町長 言われるように、普及には各課でやっていかねばならないと思っ



自治体DXは行政"20"の基幹業務等システムへ移行を推進



真鍋和崇 議員

問 『持続可能なまち』とは居住環境の改善に対策を

答 まちの魅力アップにとりくむ

問 町長が考える「持続可能なまちづくりの基礎を固める」重要課題とは。

答 町長 全ての人に優しく、未来の子どもたちにも豊かな環境を引き継げるまちづくりだ。

人口増加の好機をモノにすることが課題。まちの魅力アップに向けとりくむ。

問 町は人口増を続け、企業立地も盛んだ。次の2点を問う。

①急速に開発の進む町で居住環境の悪化が懸念だ。交通・騒音・光害・猛暑も深刻だ。

②せまい学童保育、待機児童である保育園。教室不足の学校…人口増は、住民福祉の「ひ

つ迫」につながっている。

答 町長 一番交通（の悪化）を危惧しているところだ。国道2号の交差点全部の立体化と（都市計画道路）駅前バイパス線の実現を目指す。

また（新規立地の）企業を地元で歓迎し理解されるような環

境整備も行いたい。人口増加はもう非常にありがたい。保育園、児童館、小学校、現状が追いついていない。早めの対応も心がける。

要望 国道2号も駅前バイパス線も完成には何年もかかる。居住環境の整備を求めたい。

児童館の在り方の検討と方針

問 利用する児童の保護者を公募等でまきこんだ、児童館と学童保育の早急な課題解決を探ること。

（せまい学童保育スペース確保のため、今年度）児童館機能移転が決まった。

児童館長が兼務する学童保育（しるやま学級）の管理者の配置が必要だ。

答 町長 職員2名

体制で運営する。検討会の中で管理者、館長の配置について検討する。

学級閉鎖の助成金周知（コロナ対策）

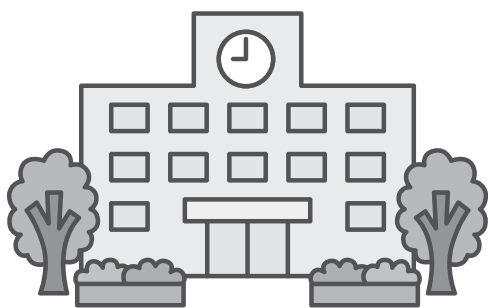
問 コロナ対策の中で小学校休業対応助成金（※）の個人申請が可能となった。保護者に周知を。

答 町長 保護者に知らせたい。

その他の質問

- 子ども担当課の本化を
- 町内の外国人労働者の実態把握と支援を
- 県下で「最も高い」国保税。黒字の一部を活用し、今こそ引き下げを

※小学校休業対応助成金
学級閉鎖等の影響で休業した保護者の賃金相当額を支給する制度



問

権利の濫用に関する早島町の定義及び、該当事例は

答

権利の濫用は一般法理であり、早島町において権利の濫用による不開示事例はない



佐藤辰美 議員

情報開示請求

問 権利の濫用につき以下に糾す①早島町における定義。②根拠法及び契約等について③権利の濫用に該当する事例はあるか。

答 町長 ①権利の濫用の定義は一般法理である②民法第1条3項によるものとして理解している。行政機関の業務への支障及び住民の被る不利益等を勘案し、社会通念上の許容範囲を超えるか否か判断し

て行う。③権利の濫用による、不開示の事例はない。

問 総務省が出している資料4の内容は把握しているか。

答 総務課長 通告時にその資料を確認いたしました。一通り目をとおして

問 情報開示請求を担当課にまかせるだけでなく、総務課が各主管課の情報開示について、確認する必要を認めるか。

答 町長 担当課が最も事情に詳しいことから、役割分担の

もと、情報開示についても担当課で対応している。

設計業務の瑕疵

問 過去の重大な瑕疵発見例の認識。①中学校空調機2台工事の瑕疵対策例。②流通団地汚水ポンプ場非常用発電機更新における誤設計。ア)37KW電動機の始動回路誤認識は認め

るか。③設計業務委託時の仕様との整合性ア)非常用発電機の起動仕様を自動から手動に変更し、災害時に適切に対応が可能か。

答 町長 ①中学校の空調機の電気工事で瑕疵があり、改造工事を実施したことは、前の議会での質問に答えた通りである。

ズドY△回路であることは認めるも、誤設計については、踏み込んだ回答はなかった。

答 副町長 ③東南海地震の場合は、自動で起動の際、新たな問題に対応するために仕様変更した。

一年契約等の職員の再雇用契約

問 ①立場の弱い人に対する対応。②2020年12月に民法上の諾成契約の成立を認めるか。

答 町長 次年度の予算方針が決まり、業務継続の要否により、再雇用を決定。

駅整備計画

問 ①駅のバリアフリー化はE/V抜きで、南口開設を模索すべき等、拠点整備等18億円もの巨額な投資であり、②住民

要望

リーダーシップを発揮する要件として①説得力②知識③謙虚さ④信頼性が求められる、よって答弁もこれに倣うことを切望する。

説明会の開催を求めらる。

答 町長 ①広報紙等で住民説明を行い、理解を求め、②住民説明会の開催は考えていない。

令和3年度議会報告会 皆さんの声を聴かせてください

令和4年1月8日に矢尾公民館において開催しました。

コロナウイルスの蔓延防止重点措置により中止となりました。

最初に、議会からの報告は、
1. 新型コロナウイルス感染に対する議会からの提案と本町の取り組み

2. 令和3年度予算編成に関する政策要望と実現したこと
令和4年度予算編成に関する政策要望

3. 第5次総合計画が策定されま
した

4. 議会改革の取り組み
を行った。

その後、質疑にはいり、多くの意見が寄せられた。

その中で、PCR検査を早島町でもできる場所を設置してほしい旨の要望があり、南岡山医療センターで、3月16日より31日までの間、実施してもらった。

開催にあたっては、体温チェック、出席者名簿の作成等、給食ボランティアの皆様は大変お世話になった。

本年度は、大池公民館と塩地公民館でも開催予定でしたが、新型



第3回議会モニター会議 ワークショップを開催

令和4年4月5日議会モニター会議をゆるびの舎研修室で開催した。

出席者は、モニター委員6名と議員10名全員出席。

まず、議会改革の取り組みについての、今までの経緯を報告した。

さらなる住民の声を聴く議会の機能向上に向けて、広聴広報機能の強化(議会報告会の定例開催等)と議会の質的強化(町議会を含む庁舎全体のICT化等)について報告をした。

その後、「若い世代や女性が参画する議会をつくるために」をテーマに、2班に分かれてワークショップを行った。

1班では、
1. 若者や女性に関心を持ってもらって参画しやすいようにする。

2. 議会の問題点の明確化

3. 議員報酬の問題

2班では、
1. 仕事子育て等で、時間がない。
2. 議会に魅力がない。



3. 意見・要望を伝えるシステム、機会がない。

とまとめられ、発表があった。今後は、議会活性化特別委員会で検討していきます。

町民の皆様からのお便り

◆グラウンドゴルフ愛好者と 楽しい井戸端会議

矢尾熊野会のグラウンドゴルフ愛好者約三十名は、年齢は七十歳から九十三歳の高齢者ばかりです。毎回、地域や町内の情報交換、高齢者の健康確認や今後の高齢者健康対策などの井戸端会議で盛り上がっています。

矢尾熊野会グラウンドゴルフ愛好者は、毎週火・木曜日のグラウンドゴルフを大変楽しみにしています。

毎週火曜日のスタート三十分前には、全員で草取りと落ち葉拾いをしています。始めた頃は、朝の一番忙しい時に「なぜ」と思っていました。今では慣れてグラウンドゴルフ愛好者に気持ちよくプレーをしてもらうためだと思つて、矢尾熊野会グラウンドゴルフ愛好者は頑張っています。

(70代女性)



投稿募集

議会広報特別委員会では、皆さんが撮影した写真やコメントの投稿を募集しています。(表紙の写真も募集しています。)

▼応募規定

- ① 町内で撮影された写真
- ② サイズは、カラープリントの場合Ⅱ2 Lサイズ以上。
デジタルデータの場合Ⅱファイルサイズ5 MB以下(表紙の写真の場合は1200万画素以上)
- ③ 未発表のもの

▼応募方法

- ① 作品(1人1点)には左記の事項をご記入ください。
住所・氏名・作品のタイトル、コメント(50字以内)
- ② 郵送の場合は、返却希望の有無もご記入ください。
デジタルデータの場合は、メールに添付の上お送りください。

▼その他

- ① 議会だより掲載時には、作品のタイトル、住所(町名まで)、

作者名を掲載させていただきます。

- ② 人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。(肖像権や著作権に関して、一切の責任を負いかねます。)

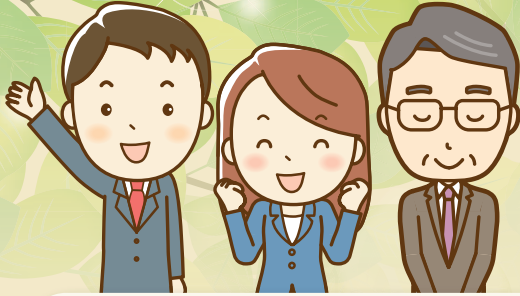
- ③ 採用された作品の使用権は、早島町議会広報特別委員会に帰属します。

また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。
また記念品等はありませんので御了承ください。

応募先：早島町前潟360の1
早島町議会事務局 議会広報宛
gikai@town.hayashima.lg.jp



\わが町の/ ニューフェイス



- ①：どんな部署でどんなお仕事をされていますか
- ②：今後の抱負をお願いします



赤堀 恵一

学校教育課 指導係長

- ①：学校教育課の指導主事として、主に学校園に関する研修や会議等の運営、指導に関する調査や研究等に取り組んでいます。
- ②：早島で働く先生が笑顔になれば、自然とそこに通う園児、児童、生徒も笑顔になると信じています。先生たちが働きやすい環境を作り、指導に生かせる研修を実施することで、先生たちが自信をもち、そのことが、子どもたちに良い影響を与えていけるよう努めて参ります。



大森 悠真

健康福祉課 主事

- ①：健康福祉課で健診の受診勧奨や補助金の交付申請受付等の業務をしています。
- ②：一日も早く仕事を覚え、早島町の発展に力を注いでまいります。よろしくお願いします。



仁田 貴大

上下水道課 主事

- ①：上下水道課で開休栓の受付や納付書の作成をしています。
- ②：まずは窓口の対応ができるようになりたいと思います。そして、早島町をより住みやすい町にできるように貢献していきたいと思います。



吉松 華花

まちづくり企画課 主事

- ①：まちづくり企画課で情報政策に関するお仕事をさせていただいています。
- ②：情報政策関連は多くの知識が必要になるので、これから日々学びながら早島町の方々のために働きたいと考えています。

編集後記

「春」。春から皆様は何を連想されるでしょうか。

桜、花粉症、花見、卒業、桃の花、菜の花、春一番、入学、チューリップ、別れ、桜餅：などなど、皆様それぞれ色々な事あるいは物を頭に浮かべられることでしょう。

太陽は暖かく、山の新緑が眩く光る春は、生命のエネルギーが感じられ、何か人生や日々の生活がリセットされて、明るい未来に希望を持てるような素晴らしい季節ですね。

思いっきり深呼吸をして、よい気を体に取り入れましょう。
新型コロナウイルスに明け暮れたこの2年間の重い空気を、春のさわやかな風がゆつくりと運び去ってくれるといいですね。

まん延防止等の規制が解除され、今年のゴールデンウィークの行楽地の人出も段々と戻ってきていると聞きます。

地域によっては前年の700%以上で、2019年の数字を取り戻したところもあるそうです。
このまま、世の中が元気を取り戻していつてほしいと、心から願います。

今年も早島町議会議員の選挙の年。議会の「春」です。
町議会議員一同、皆様の豊かな生活の実現のために頑張ってください。ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会